

本校生徒が一宮公民館で「プログラミング教室（第1回）」を開催

9月17日（土）に岡山市立一宮公民館と連携して、一宮公民館で本校の生徒が小学生対象のプログラミング教室を開催しました。

今回、プログラミング教室を行ったのは普通科2年生の生徒です。iC課題探究αの情報分野で「プログラミング教育」について研究を行っています。この研究は、普通科3年生の情報教育班の生徒が昨年度に行った研究を引き継いだものです。3年生が行った研究はアンプラグドプログラミングの教材を制作するという内容でした。2年生は「3年生が作成した教材をどのように活用すれば効果的なプログラミング教育を実践することができるのか？」ということの研究テーマにして文系理系の垣根を越えて文理融合で研究を行っています。

今回、岡山市立一宮公民館で「小学生対象プログラミング教室」をさせていただいたことで、日頃の研究活動で考えた授業方法について実践することができました。授業展開や問題を考え、資料や説明用スライドを作成するのは初めての経験でしたが、プログラミング教室が終わってから参加した小学生に「楽しかった」、「また参加したい」などの感想を言うことができ、生徒たちは達成感を感じることができました。

このプログラミング教室は12月17日（土）にも一宮公民館で開催予定ですので、今回の授業で明らかになった点を踏まえて次回のプログラミング教室を改善していきたいです。



【プログラミング教室の準備についての感想】

- スライド作りや原稿など様々な準備があり、先生の大変さを学べた。また、どのようにしたら小学生が真面目に講座を受けてくれるかを考えることや、どれくらいの難易度の問題なら解くことができるのかを考えながら問題を作ることで論理的思考力が身についた。

【プログラミング教室を行ってみての感想】

- 小学生に教えることの大変さを学ぶことができた。また、小学生がよく話しかけてきてくれて、積極的に会話することでコミュニケーション力が身についた。
- 実際に授業を行うことが初めての体験だったので緊張したが、とても良い経験になった。小学生と触れ合うことで垣根を越える力が身についた。